

唾液サンプル用 ELISAキット

非侵襲的にサンプリングできる唾液で ホルモン測定

ホルモン濃度の正確な測定は、ホルモンバランスと内分泌機能を正しく推定するた めに重要です。この測定は、伝統的に血液/血清/血漿サンプルで行われてきまし た。しかし、いくつかのホルモンは唾液中にあり、分析できます。唾液サンプルの場 合、サンプリングは非侵襲的であり、いつでもどこでも行うことができます。 特に、コルチゾール、テストステロン、プロゲステロン、エストラジオール、DHEAなどのステロイドホルモンの場合、唾液検査の診断との関連性は、血清/血漿分析と比 較して高いことが知られています。

唾液サンプルの主な利点

- **プ 高い診断関連性(代謝フリー画分)**
- いつでもどこでも痛みのない非侵襲的 なサンプリング
- ウ 突発的な分泌パターンを考慮した複 数サンプリングが簡単に実行可能
- ピ 安定した素材

製品ラインナップ

品名	サンプル量	スタンダード範囲	インキュベーション	感度	税別価格	品番
【遊離17-OHプロゲステロン】 17-OH-Progesterone free in Saliva ELISA	25µl	10-1000pg/ml	1時間15分	2.5pg/ml	¥61,000	DESLV3140
【遊離エストラジオール】 Estradiol free in Saliva ELISA	100μΙ	1-100pg/m	3時間	0.6pg/ml	¥50,000	DESLV4188
【遊離アンドロステンジオン】 Androstenedione free in Saliva ELISA	50µl	20-1000pg/ml	1時間15分	5pg/ml	¥61,000	DESLV4780
【遊離エストロゲン】 Estrone free in Saliva ELISA	100µl	3-333pg/ml	1時間15分	0.12pg/ml	¥61,000	DESLV5228
【分泌型免疫グロブリンA】 Secretory IgA ELISA	10µl	2–400µg/ml	2時間10分	0.6µg/ml	¥65,000	DEXK276
【 α-アミラーゼ】 alpha-Amylase Saliva ELISA	20μΙ	10-500U/ml	1時間15分	3.6U/ml	¥61,000	DEEQ6231
【遊離コルチゾール】 Cortisol free in Saliva ELISA	50µl	0.1-30ng/ml	1時間30分	0.024 ng/ml	¥50,000	DES6611
【遊離テストステロン】 Testosterone free in Saliva ELISA	100μΙ	10-1000pg/ml	1時間30分	2.2pg/ml	¥50,000	DES6622
【遊離デヒドロエピアンドロステロン】 DHEA free in Saliva ELISA	100µl	10-2560pg/ml	1時間30分	3.7pg/ml	¥50,000	DES6666







アプリケーション

- スクリーニングと予防
- 心理学
- 獣医学
- 生殖発達
- 免疫学
- アンチエイジング
- スポーツ医学
- 不妊症、不妊症、体外受精
- 不安とストレス
- 環境衛生
- 栄養
- 肥満

- ホルモンバランス
- 小児科
- 閉経
- 糖尿病
- 健康

唾液サンプルでのホルモン測定について



ステロイドホルモンの唾液検査は、内分泌障害のホルモン活性を測定し、ホルモンバランスをチェックするための最も信頼性が高く便利な方法です。現在、ELISAテクノロジーのルーチンテストキットが、ますます多くのステロイドに利用できるようになっています。

ホルモン活性について

ステロイドホルモンは、それらの特異的結合グロブリンにほぼ 完全に結合しています。この結合画分は生物学的に不活性であり、一種のホルモン貯蔵庫であると考えられています。全ホルモンの5%未満のみが遊離しており、活性画分を表しています。したがって、この遊離画分はホルモン作用の原因であると考えられています。血清または血漿では、ステロイド測定は主に総不活性ホルモンの濃度を表す数値になりますので、この総濃度はせいぜい、ホルモンの遊離画分を測定するおおよその指標にすぎません。これは、唾液サンプルをテストすることで達成できることです。

サンプリング用のデバイスについて

唾液には少量のタンパク質しか含まれていないため、ステロイドなどの非極性分析物はさまざまなプラスチック表面に吸収される傾向があります。ガラスは唾液のサンプリングに最適な材料である傾向があり、ほとんどの場合、ポリエチレンは世界中の多くの研究所で使用されていますが、避ける必要があります。

唾液中の血液

微量の血液が唾液検査の結果を妨げる可能性があります。 したがって、唾液サンプルが赤色でないことが大切です。 唾液に血痕が見られる場合は、サンプルを廃棄する必要が あります。水道水でデバイスを数回すすいだ後、新しい唾液 サンプルを採取できますが、約15分時間を空ける必要があ ります。

突発的なホルモン分泌

ステロイドホルモンは突発的な分泌パターンを示すため、単一のサンプルに基づく結果は完全に恣意的になります。そのため、複数のサンプリングの場合にのみ、再現性と信頼性の高い結果が期待できます。したがって、少なくとも2時間以内に5つのサンプルを採取することを推奨します。これは、血清/血漿および唾液に有効です。

血液と異なり、唾液検査であれば、このサンプリング戦略を 簡単に行うことができます(唾液のサンプリングの数時間前 に食物を摂取できないことに注意してください)。朝の絶食 中に唾液を採取するのが最適です。水の摂取はテスト結果 に影響を与えません。他の液体はお勧めしません。

血清検査

一般に、血清または血漿中のステロイドの検査には疑問があります。主に不活性なホルモン画分を表しており、単一のサンプルの場合は恣意的な結果になるからです。比較的短時間、通常は30分未満で、血清中のホルモン濃度は2倍または3倍に簡単に変化する可能性があります。現在の

(完全に自動化された) ルーチンメソッドの特異性が限られているため、低濃度範囲での血清検査は信頼できません。これは科学文献に掲載されています。これらと対照的に、唾液検査はコルチゾール、テストステロン、プロゲステロン、エストラジオール、エストリオール、エストロン、DHEA、α-アミラーゼ、sIgA、80HdGなどのあらゆる濃度範囲の分析物で最も信頼できる代替手段です。

本キットは、研究用として販売しております。ヒト、動物への医療・臨床診断用には使用しない様にご注意ください。また、食品・化粧品・家庭用品などとして使用しないでください。無断で承認を得ず、製品の再販・譲渡、再販・譲渡のための改変、商用製品の製造に使用することは禁止されています。

フィルジェン 株式会社



代理店

【お問い合わせ】試薬部

TEL: 052-624-4388 FAX: 052-624-4389

メール: biosupport@filgen.jp URL: https://filgen.jp/